



施工手順・参考資料はこちら

# チューブ土嚢

簡易緑化

緑化用補助資材



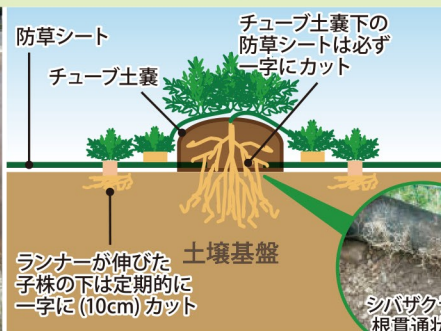
雑草を抑えつつ植栽環境の悪い土壌基盤に適した緑化方法です。



施工直後



施工3年4ヶ月後



シバザクラの根貫通状況

特長

- 悪条件の土壌環境に最適** 植え付け困難な土壌でも、チューブ土嚢を使用すれば植物がすくすく育ちます。土壌に含んだVA菌根菌(土壌微生物)が植物の健全な生育をサポートします。
- 植物の着根に有利** チューブ土嚢の底面は通根性シートのため、基盤土壌に活着します。
- 簡単施工・メンテナンス** 全面土壌改良が不要で作業が簡易的です。また、防草シートとの併用で低メンテナンスを実現します。

植栽手順

- 1 チューブ土嚢の真下の防草シートへ一字切込み(約750mm)を入れる。
  - 2 チューブ土嚢内の土を均して、余裕を持たせてピンで固定する。
  - 3 ファスナーを開け苗を植える。
  - 4 株元に十分灌水し、ファスナーを閉じる。
- チューブ土嚢の土は乾燥していますので、植栽前には必ず水に十分漬けてから設置してください。(目安:3.5ℓ/袋)

規格

サイズ	植栽穴数	重量	土容量	土壌配合比	材質
W200×L880×H90mm	3	約10kg	15ℓ	有機物：45% 無機物：50% その他：5%	ポリエステル レーヨン

※別途、特注規格や袋のみでのご注文も承ります。 ※土詰めは受注生産になりますので別途ご相談ください。

## 防草・緑化とは

### 防草・緑化とは、雑草の繁茂を抑えながら、目的の植物を育てる手法のことです。

地面の上に防草シートをはり、植栽する箇所に切り込みを入れ、育てたい植物の苗を植えます。防草シートにより雑草の発生が抑えられ、目的の植物が生長しやすい環境を作ります。

カタログ内に「植栽」と記載のある防草シートは、防草性能と植物の生育に必要な透水性と通気性をバランスよく保持した「防草・緑化」に適したシートです。

通常、直接地面に植え付ける場合には、植物の種類や条件により異なりますが、1㎡に25~36株ほど植えます。植栽密度を高くすることで早く地面を覆い、雑草に負けないようにするためです。しかし、植物が生長するにつれ密になりすぎて、蒸れて弱ってしまうこともあります。また、多くの苗を使用するため、コストがかかります。

防草シートを活用した「防草・緑化」の方法であれば、たとえばシバザクラの場合、植えつける株数は4株/㎡程度を推奨しています。植え付けから3年ほどでシート全面を覆うように育ちます。除草の手間を軽減し、使用する株数も必要最小限で抑えられるため、コストを抑えた緑化が可能です。



「緑化はしたいと考えているが、雑草管理が大変でなかなか手が出せない」という方に、防草シートを活用した緑化工法をご提案しております。手間のかかる除草作業を減らし、緑豊かな地域をつくるお手伝いをさせていただきます。